

たがじょう

市議会だより

血税 決算認定に賛成か反対か!

議員定数 4 減で18名に

市長の所信を問う

一般質問

小幡はるなちゃん
あやなちゃん
(大代三丁目、雷神公園にて)

No.73

平成22年(2010年)
11月1日発行

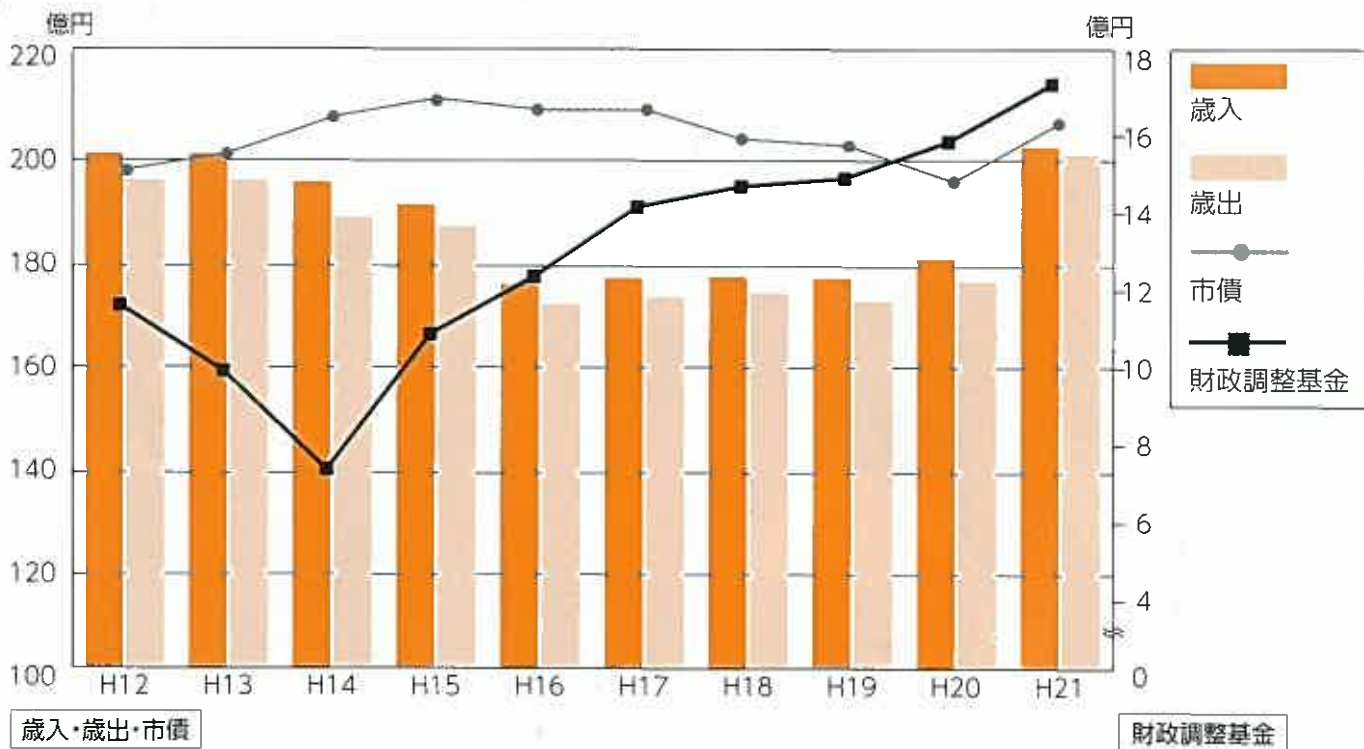
決算認定に賛成か反対か！

— 気になる、私たちの税金のゆくえ —

第3回定例会を9月8日から28日まで、21日間にわたって行いました。

定例会の焦点は、21年度各種会計の決算。税金がどのような事業に投入され、その結果、私たちの暮らし向きは良くなったのか…、22人の議員が審議しました。今回は、市の決算状況を「ざざんか家の家計簿」に例え、グラフで紹介します。

多賀城市普通会計決算



**工業団地は再検討
水道料は値下げを！**

日本共産党 佐藤 恵子

政府の経済対策を積極的に活用し、学校・公民館等公共施設の耐震化を一気に促進させ、かつ七年連続財政調整基金を取り崩さなかった財政局の努力は評価したい。しかし、以下の点の問題を指摘し、かつ是正を求める。

第一に保健福祉分野では、乳幼児医療費無料制度や妊婦健診への助成拡充、脳ドックへの助成開始、浮島保育所の建て替え等の前進があった。しかし乳幼児医療費への助成は県内では遅れた自治体に属し、保育所の待機児童や学童保育の過密状態は依然残されている。

第二に暮らし応援、特に水道料金の問題では、昨年十二月議会で世帯月百五十円の引き下げ条々が可決された。値下げから半年たったばかりだが、黒字額は大幅に伸びており、引き下げ幅が小さすぎたことは明白。さらなる引き下げを求める。

第三に、工業団地の問題で市長は猪突猛進しようとしているが、最低七十二億円もの雨水対策費を必要とすることは明らかだ。再検討を求める。

第四に、教育分野では、七小をどうするか話題になったが地域の方々に良く理解していただくことが必要だ。

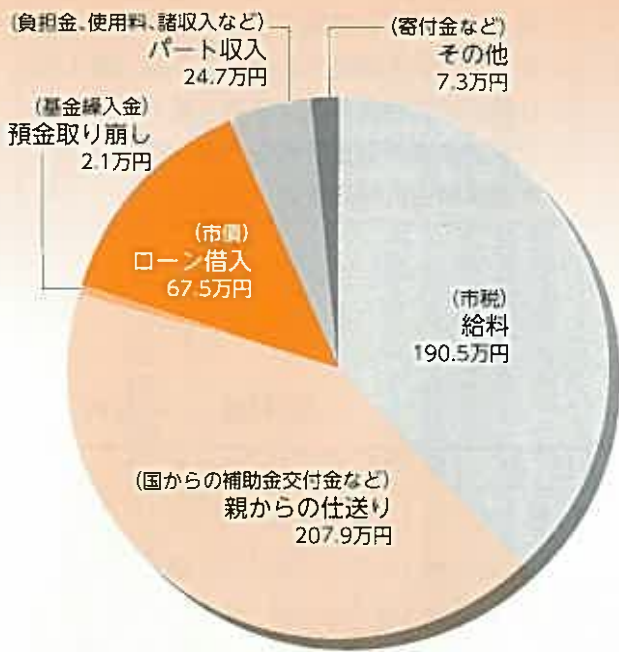
図書館の民営化は断念し充実に努めるべきだ。

第五に、委員会で新たな財政中期計画が話題となった。立てるに当たっては、平成十八年秋に根拠なしに「多賀城が夕張になつてしまふ」などと住民をおどかした「緊急再生戦略構築のための取組指針」に十分反省した上で、実態に即したものにすべきだ。

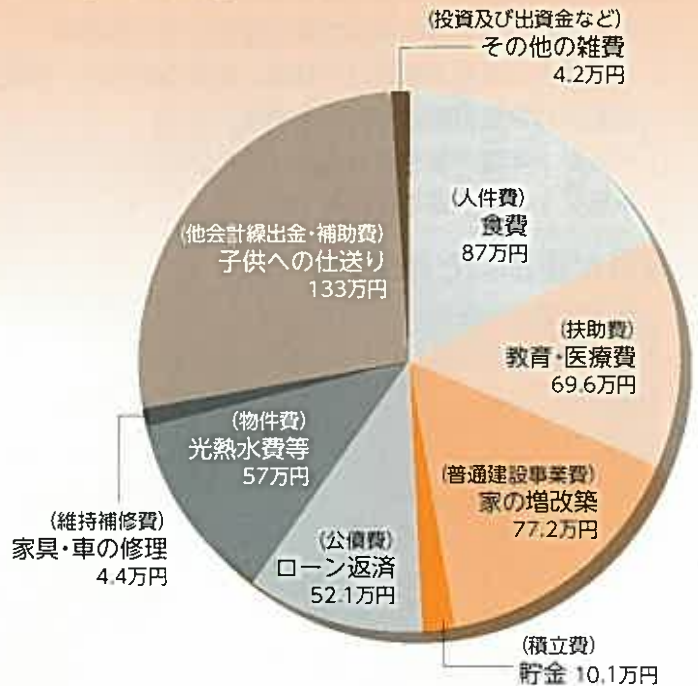
さざんか家の家計簿

平成21年度決算の歳入・歳出を
年収約500万円の家計にしてみると…

(収入)



(支出)



着実に実績を伸ばした努力を評価

公明党

相澤 耀司

厳しい財政状況の中でも、歳入面では市民活動サポートセンターの活動が活発になり、百三十六万円の収入を上げた。訪問勸募収納事業では、納税勧奨員により百二十九万円の実績をあげている。

歳出面では、脳検診助成事業では、助成金を「指定の口座払」とし、一万円の受診券を助成した。住宅用太陽光発電導入事業では、十三件の実績があった。

特定保健指導事業では、保健指導の機会を持った結果、実施割合が前の二倍に伸びた。市立保育所整備では、浮島保育所の改築が進んだ。未就学乳幼児の通院、入院費の無料化が実施された。地域活動支援センターは、身体、知的、精神の三障害の方が利用できるセンターとしてスタートした。シルバークラークの建築が行われた。

認知予防サポーター事業では、百四十二人の受講者があった。環境出前講座が七百八十一人の実績を出している。地域職業相談は就職相談者計画三百六十人に対して実に九百十四人の相談実績を出している。

教育委員会関係では、太陽光発電導入事業は、九校が工事や設計を完了している。学校施設耐震化事業では、各小中学校の設計と工事が着実に進んだ。学校支援地域本部事業が東豊中学校でスタートした。歴史と音楽のシンフォニー・シティ事業で、コンサート等の開催で文化の向上に寄与した。当局担当職員が努力を評価し、今後も市民のために活躍されることを念願し、賛成討論とする。

「選択と集中」を大いに評価

多賀城自民クラブ

森 長一郎

百年に一度といわれる世界同時不況の中、時の政府は、平成二十一年度予算を「国民生活を守るために」とし、「当面は景気対策」との観点から、第一次、二次補正、二十一年度予算と切れ目なく経済雇用対策を實行し、国民生活の危機に対処しようとしたが、衆参ねじれにより、新年度予算は難産を極めた。

市も、景気後退により市税、普通交付税等の減少、生活保護世帯の増加等、市財政の厳しい中、緊急雇用、経済対策、市民生活の安全安心を守るため、国の施策に連動した事業の実施により、国庫支出金の大幅な増加や県支出金の増加で、地域活性化、公共投資臨時基金に伴う積立金が増加。そのため当初予算組みしていた財政調整基金からの繰り入れを七年連続で行わなかった等のやりくりと、途中政権交代による事業の見直し、凍結の事態があったにもかかわらず、「選択と集中」により的確に、そして速やかに対応したことは、大いに評価し、敬意を表する。

結果、菊地市長の二十一年度施政方針を第四次総合計画と照らしても、概ね結果を出している。水道事業においては、県広域水道の供給単価の値下げを受け、水道料金値下げを断行したことは、評価に値する。総じて菊地健次郎市長をトップに「市民協働」の旗印の下、地方主権、市民主権、市民の生活を守るために、自主財源のさらなる構築に職員一丸となり、第四次総合計画から第五次総合計画へと、子どもたち、お年寄り、市民の笑顔で満ちた「多賀城市創り」に期待をし、賛成の討論とする。

各議員が出した結論は

平成22年第3回定例会議決結果一覧

市長が提出した議案

- ① 専決処分の承認（一般会計補正予算（第4号））
- ⑧ 一般会計補正予算（第5号）
- ② 教育委員会委員の任命に対する同意
- ⑨ 国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- ③ 固定資産評価審査委員会委員の選任に対する同意
- ⑩ 老人保健特別会計補正予算（第1号）
- ④ 企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正
- ⑪ 後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- ⑤ 第五次多賀城市総合計画基本構想
- ⑫ 介護保険特別会計補正予算（第1号）
- ⑥ 平成21年度一般会計決算及び各特別会計決算の認定
- ⑬ 下水道事業特別会計補正予算（第2号）
- ⑦ 平成21年度水道事業会計決算の認定
- ⑭ 水道事業会計補正予算（第2号）

議員が提出した議案

- ⑮ 水道事業給水条例の一部改正
- ⑯ 市議会議員定数条例の一部改正
- ⑰ 意見書

○ 賛成 × 反対

案件等の番号	日本共産党				多賀城自民			公明党			自由民主			民政		風	21	ビ	市	新	無	審議結果		
	柳原清	佐藤恵子	藤原益栄	戸津川晴美	伏谷修一	森長一郎	吉田瑞生	相澤耀司	松村敬子	根本朝栄	米澤まき子	板橋恵一	小嶋廣司	金野次男	雨森修一	阿部五一	深谷晃祐	中村善吉	尾口好昭	昌浦泰己	竹谷英昭		石橋源一	
①	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認	
②	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
③	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
④	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
⑤	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
⑥	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
⑦	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
⑧	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
⑨	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
⑩	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
⑪	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
⑫	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
⑬	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
⑭	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
⑮	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	-	否決
⑯	×	×	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	-	原案可決
⑰	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決

※会派名 日本共産党=日本共産党多賀城市議団、多賀城自民=多賀城自民クラブ、公明党、自由民主=自由民主クラブ、民政=民政ネットクラブ、風=新風の会、21=新政クラブ21、ビ=ビジョン21、市=市民クラブ、新=新世紀クラブ、無=無会派（議長）

意見書

「子宮頸がんのワクチン接種等予防推進を求める意見書」
 予防効果の高い特定年齢層への一斉接種を国の全額補助で行うこと等を内容とした意見書を、議会から内閣総理大臣、厚生労働大臣に提出することを決めました。

陳情書

市民の方から次の陳情を受けました。
 「県と市の広報配布について」
 順番で回ってくる班長さんが広報や集金のため各家庭を回っている時に、天候や宅地の状況で転倒し骨折しても、保障がありませぬ。広報は県や市で郵送するか公務として保障される人がすればよいと思います。

広報を毎月読んでいる方がどれくらいいるか疑問です。
 アンケートで調べてみるのもよいと思います。

議員定数 4 減で 18 名に 賛成 12 反対 9 で可決

9月8日に開かれた、第3回定例会の初日、議員定数改正条例が審議されました。議員定数を現在の22名から18名にする条例で、11名の市議が提案。

審議の結果、反対9名、賛成12名で可決されました。これにより、来年の市議会議員選挙から、議員定数は18名となります。

定例会で、議員定数等調査特別委員長が最終報告！ 定数削減を報告

市議会の役割と責任はますます大きくなっています。なぜなら、議会の意思決定次第で、まちの将来も市民の皆さんの暮らし向きも大きく変わってしまうからです。

全議員で組織する同委員会では、地方分権時代にふさわしい議会のあり方を検討し、その結果を定例会で報告しました。

調査特別委員会の調査検討項目と報告内容一覧

項目	結論	採決状況等
議員定数	削減する	賛成議員14人 反対議員6人 ※削減は民意反映の低下に
議員報酬	現状維持	現状維持に賛成議員11人 増額を求める議員9人 ※報酬だけでは生活困難
政務調査費	現状維持	現状維持に賛成議員16人 増額を求める議員4人 ※今の額では不十分
常任委員会 委員長手当	現状維持 (無支給)	現状維持に賛成議員16人 支給を求める議員4人
事務局体制 の強化	現状維持	強化に賛成議員7人 ※議員活動に専門知識必要 現状維持に賛成議員13人

※委員長は採決から除かれます。(採決時議員数21人)

※調査項目の検討は、本年2月から8月にかけて、計7回にわたり行いました。

水道料金引き下げ案を否決

九月八日、市議会定例会本会議で、「水道事業給水条例の一部を改正する条例」の審議が行われました。審議の結果、賛成六名、反対十五名で否決されました。

この水道料金再引き下げ条例は、本年四月の料金改定(1.8%)、20ミリ口径20平方メートル使用で月平均百五十円(時の引き下げ幅を、三・三倍の月額五百円にする)ものです。

四名の議員が六月議会に提案、建設水道常任委員会に付託されていきました。

八月十二日の同常任委員会では、賛成三名、反対四名で否決されました。



1問 行政の積極的関わりなしに、市の憲法ともいうべき「住民基本条例」は作れないのではないかと。

答 行政が作成するのは簡単ですが、しっかりした市民参画と協働が根付かなければ条例を策定しても将来的に長続きしないと思います。

2問 待機児童解消のためにも山王市営住宅跡地を利用し、積極的に民間保育所の誘致促進をしてはいかかか。

答 市営住宅跡地は、民間保育所用地として有力な候補地のひとつです。今後、地域の方とも相談し検討したいと思います。

3問 ①公明党が提出したヒブ及び肺炎球菌のワクチン等助成を求める要望書、これが健康都市の具現化と思うがいかがか。②町内の役員やボランティアの方がやりやすいように、負担を軽くしてやり、余裕をもって若者や子どもたちに対応できる環境の整備が必要では。

答 ①国の来年度概算予算に子宮がん予防対策許可事業が盛り込まれたようです。公費助成には多額の費用負担がかかります。また任意接種のため健康被害の補償問題等があります。しかし予算が確保されれば、費用助成のはずみになります。②新たな支

公明党 相澤 耀司



- 1 市民協働のまちづくり
- 2 子育て支援と教育環境の充実
- 3 いきいき健康増進都市の具現化
- 4 活気と活力に満ちあふれた地域産業の振興
- 5 都市基盤の整備などによる魅力度アップ

援策のあり方について調査研究を行い、基盤整備に努めていきます。

4問 多賀城駅北側と南側の一体的な整備について、具体的な取り組みは。

答 平成25年に多賀城駅がリニューアルすることを念頭に、「新たな多賀城市のシンボル」になるよう、全力を尽くします。

5問 「史跡のまち」の理念に賛同するものとして市長はどのように整備し、どのようなまちにしたいのか具体的に示してほしい。

答 地域の方々が綿々と守ってきた特別史跡や貞山運河を中心とした歴史的風致を維持向上する計画を策定し、「史跡のまち」として住む人が誇りを持って暮らせるまちにしていきます。



新世紀クラブ 竹谷 英昭

(1人会派5名からの代表質問)

所信表明について

1問 平成18年9月議会で行った所信表明に対する評価は、どうとらえているか。

答 4年間で、8割から9割を実現、又は実現への道筋ができたのではと考えます。

2問 所信表明と第五次総合計画との整合性をどのように行うのか、具体的な手法は。

答 五次総は10年後の将来都市像を明らかにしたもので、所信表明は今後4年間に私が特に力を入れる分野をまとめたもの。具体的に整合を図る手法は、新年度予算編成になります。

3問 今回の所信表明の中身が、抽象的なので具体的に問う。①地域が抱える課題を解決していく仕組みづくり②景観条例策定に向け③待機児童対策での民間活力の活用④幼保一元化⑤文武両道⑥健康ウォーキングマップ、ウォーキングロードの設定⑦国際貿易港、仙台塩竈港の活用⑧周辺整備事業の中に、旧長崎屋跡地を活用した内容⑨地産地消の促進と学校給食、以上9項目についての具体的構想は。

答 ①市民による「暮らしの支え合い」の仕組みづくりが大変重要。「こみプロ」に加え、市民活動サポートセンターの事業等を通じ、自治力向上に向けた支援を講じます。②土地利用に多大な制約を与えるので、慎重に検討しなければなりません。③民間保育所の建て替え等に助成を行うほか、民間保育所の誘致を積極的に進めます。④国の動向を注視し適切に対応します。⑤学校を会場に行う各種の親学講座の支援、「学校すくすくプラン」の拡充等を行います。⑥市民参画により、文化財、砂押川、加瀬沼、貞山運河等を巡る散策路を考えています。⑦八幡工業団地での企業誘致の呼び水としてアピールします。⑧活気と賑わいを創出する、民間主導の開発が必要です。必要とあらば土地開発公社が一時的に取得し、後に民間企業に譲渡する手段も考えています。⑨学校給食での地場産野菜の使用が農業者の生産意欲に応えるよう対応します。

4問 JR岩切駅への新田地区方面乗降口設置について、今回取り上げない理由は。

答 仙台市が今年度より事業（調査設計業務）に着手し、既に担当レベルでの事業調整に着手しているので、敢えて取り上げませんでした。

5問 財政関係について取り上げない理由は。

答 財政の健全性維持のため、一期同様に取り組む考えなので、敢えて取り上げませんでした。

各会派の代表議員が、再選した菊地市長に、今後のまちづくり構想等を質問しました。



日本共産党 藤原 益栄

- 1 以下の構想を具体的に説明を
- 2 工業団地構想と水害対策
- 3 「魅力度アップ」

1問 ①「子育てサポートセンターの充実」②「地域包括支援センターの拡充」③「多賀城駅北側と南側の一体的整備を促進」④「『道の駅』の設置について」

答 ①育児経験者による訪問支援事業等、ファミリーサポート事業の拡充と多様な担い手による子育て支援ネットワークづくりを進めます。②「第五期介護保険事業計画」の策定時に相談、支援体制の整備を検討します。③商業、居住、生活サービス等の高度な都市機能を集積し、南北一体となった回遊空間にします。④本市の物産や七ヶ浜、友好都市の物産販売等も行いたいと思います。場所は、仮称多賀城インターチェンジ予定地付近が望ましいと思います。

2問 ①市長は8・5水害を体験されているか。②西部地域の雨水はほとんど工業団地予定地に集中するとの認識はあるか。③

整備予定の六貫田雨水幹線の能力を越え雨水が集水されることも想定されるが市長の認識は。④工業団地を造成すればさらに47億円、総額72億円の雨水費が必要になるのではないか。⑤工業団地構想は再検討すべきだ。

答 ①市内の自宅。②工業団地予定地域に集中する認識はありません。③西部地区には複数の排水路があり、雨水幹線系にも余裕があること等から、当面は対応できると認識します。④⑤雨水対策費用は、雨水排水設備を進めるために必要な費用です。工業団地構想は、本市発展に必要なものです。

3問 ①市長は所信表明で「多賀城創建千三百年」に向けて何等の決意も語らなかった。なぜか。②市長の次期任期は「多賀城創建千三百年」事業に向け、大切な4年になると考えるがご認識は。

答 ①所信表明前から本市を「詩都」と表現しさまざまな機会をとらえて述べてきました。特別史跡多賀城跡附寺跡第三次保存計画と歴史的風致維持向上計画によるまちづくりが進展し、多賀城らしいまち並みが具現化されれば、多賀城創建千三百年祭開催の兆しが見えると思います。

市長の所信を問う

問 市長が一期目から掲げている市民協働のまちづくりについては、市長自身が市民の意見を聴く取組みを継続しつつ、市民協働のまちづくりの核として市民活動サポートセンターの設置、第五次総合計画等各種計画策定への市民参画を目指すなど市民発意の条例制定へ向けた自治意識の醸成を図っているが、これまでの実情を踏まえ、市民はどのように理解しているのか、今後四年間の行程を具体例を挙げて示してほしい。

持続可能な行政経営を目指すために、将来的にも継続する自主財源の確保が重要である。南宮エリア道の駅構想を八幡一本柳工業団地化構想とともに持続可能な行政経営にむけた相乗効果がある事業形態として第五次総合計画へ位置つけるべきと考えるが、いかがか。

答 「地域アドバイザー事業」、「こみゆにていプロジェクト」、「おぼんです懇談会」「市長と話そうちよつと茶つと」などをおして、市民参画や協働の概念が着実に浸透してきたと実感しています。今後の行程では、三つのステップを考えています。第一は、市民の「話し合いの場」や「話し

多賀城自民クラブ 伏谷 修一



市民協働の概念の定着
(その具体例とは)
地域産業の振興
(相乗効果がある事業形態)

合いの文化」を地域に定着させる。第二は、住民自治組織を形成し、市内全域で組織化するための検討。第三は、住民自治組織の立ち上げと組織運営基盤の強化です。同時に「自治基本条例」を制定します。

南宮エリアは、第五次総合計画に「交通結節活用ゾーン」と位置付けてます。「道の駅」構想は、農業、商業、観光業を営む三者が一体となって取り組むことが、農家の自立、農産物の生産加工、販路確保、観光の魅力向上につながり、雇用の確保等、地域産業の振興等、新たな経済効果を生み出す施設となる可能性があります。南宮エリアの開発は「南宮エリア道の駅構想」として第五次総合計画にも反映させたいと考えます。



自由民主クラブ 小嶋 廣司

所信表明を問う

1問 市民との対話で、市民の声（意見）に対し今後の対応と、どう行政サービスに反映していくのか伺う。

答 地域の抱えるさまざまな問題を市民と一緒に考え行動するには、情報の共有が大前提です。そのため、「おぼんです懇談会」等を開催しました。意見の中には、国府多賀城駅の違法駐車対策や「不審者情報のホームページ掲載」等、施策に反映したのものもあります。

2問 学校を拠点とし、学び合う環境を目指すための事業のひとつ、「放課後こども教室」の実施校について伺う。

答 多賀城小学校、多賀城八幡小学校で実施。学校内での活動場所確保等、課題はありますが2年に1校のペースで拡大したいと考えています。

3問 環境づくりと障がい者の各種事業の具現策を伺う。

答 シルバーワークプラザの機能の充実を図り、高齢者がいきいきと生活できる地域社会づくりを推進。また障がい者が住み慣れた地域で暮らせるよう、道路や建物のバリアフリー化を推進。就労支援や相談支援の拡充も図ります。

4問 ①一本柳地区の工業団地化の具体策と、②中心市街地となる駅前の活性化、③農商光をどのように連携させていくのか伺う。

答 ①計画では、完全オーダーメイド型です。②核となる駅北再開発と長崎屋跡地の健全開発を促進します。③一体となって取り組むことが、新たな経済効果を生み出すと考えます。

5問 多賀城駅を中心とした、バランスのとれた発展誘導の具体策と街の品格について伺う。

答 多賀城駅舎新築や北側と南側の一体的整備、駅から放射状に広がる都市計画道路の整備に併せ、バス路線の再編や新たな公共交通ネットワークの構築を推進します。

また、本市固有の歴史、文化的資源の価値を高め、郷土に誇りと愛着を感じ品格が継承されるまちづくりを進めます。

1問 ①「何か事があれば即応してその場に赴く」とあるが、事が起こらないように事前に対応する積極的姿勢をより重視すべきと考えるがいかか。②職員特に幹部職員の「現地現場主義」への取り組みについて、市長の現状認識と今後の対応を問う。

答 ①同感。②幹部職員に限らず、職員には現場に赴き自分で確認するよう指示しています。また市民と直接対話する場の中堅、管理監督職を参加させています。

2問 ①シルバーワークプラザと同じように、シルバーヘルスプラザも、高齢者の生きがい活動の拠点施設と考えるが、これの増設について考えを問う。②地域包括支援センターの機能を拡充するとの内容について問う。

答 ①今後、高齢者のみの施設でなく、幅広い年齢層が交流する施設のあり方を模索します。（増設は第2回定例会で回答）②現状では十分と言えない環境と認識していますが委託先事業所の事情もあるので、第5期介護保険事業計画で検討します。

3問 「多賀城そのものが詩である」ということのイメージがわいてこないが、①市

民政ネットクラブ 阿部 五一



- 1 現地現場主義への取り組み
- 2 高齢者の福祉について
- 3 詩都の風情風景とは

長の描く「詩都」のイメージはどのようなものか。②「詩都」を表現するための構想とはいかなるものかを問う。

答 ①「詩都」とは、司馬遼太郎の著書「街道を行く」の中で「多賀城そのものが詩であると言える」と話されたことから引用したもの。私がホームページ（市長室へようこそ）で、「まちに美しさが求められる時代。歴史の重みと詩都というイメージを高く持ち多賀城を創り変えていきたい」と述べたことが私のイメージです。②表現するための構想として、歴史的風致維持向上計画によるまちづくりや、景観条例に則ったまちを創造できればと思います。また、外郭南門の復元や街並みの形成も、「詩都（ポエムシティ）」にふさわしいものにしたいと思っています。



一般質問

1 中央公園の整備促進について 2 図書館の整備について

日本共産党 藤原 益 栄

1問 サッカー場・ソフトボール場・野球場のグラウンドは整備されつつあるが、トイレは依然仮設で多くの苦情が寄せられている。早急に水洗トイレを整備されたい。

答 現在の計画では管理棟、野球場、北側駐車場の三箇所へ新たに水洗トイレを設置する予定です。時期としては、用地買収や野球場の整備が完了してから、利用者等の意見を取り入れながら次期整備計画の中で取り組みたいと考えています。

2問 ①司書の体制強化について。A正規職員中の司書資格者が二名という現状を、市教委は十分とお考えか。イ司書を専門職として採用すべきとお考えか。教育長は庁内に（別の仕事をさせている）資格をもつ十名の職員の存在を理由にし拒否している。なぜそれが理由になるのか。②書庫の整備について。A書庫が満杯状態であり拡張を要求しているが、教育長は「平成二十七年の耐震改修と一緒に行う」と答えている。なぜ一緒になければならぬか。イ耐震化工事自体を早めることはできないか。

答 ①A現在、常勤二名、非常勤七名の計九名が配置されており、引き続きこの



中央公園ソフトボール場の仮設トイレ

体制により対応したいと考えています。イ本市の職員育成は、幅広い経験を積ませるため各種の業務を経験させ、さまざまな立場の方のニーズに対応する力を蓄積させたいとの考えなので、理解願います。

②A・イこれまで学校の耐震改修を優先してきました。学校の工事は順調ですが、強化ガラス等による地震被害防止対策等もあり、図書館書庫の増設は、耐震改修と併せて実施したいと考えています。

1問 高橋跨線橋、新田南錦町線、南宮北福室線道路改良工事の見通しを問う。

答 今年度の交付金が大幅に減額されたことから、追加要望を行っています。追加が見込めない場合は、来年度計画に上乘せして要望し、計画どおり完了するよう関係機関に働きかけをしていきます。

2問 保育所待機児童が、百六十名を超えている。待機児童解消の方策を問う。

答 今年度中に民間保育所の建て替えと新設が一箇所ずつ予定があり、八十名の定員枠が拡大されるので、一定数の待機児童の解消につながると思います。また、西部地区に待機児童が多いという現状を踏まえ、西部地区に民間保育所を誘致することも視野に入れながら対応します。

3問 七ヶ浜町の「くるりんこ」、塩竈市の「しおナビ」、利府町の「町民バス」が好評である。本市も循環バスを実現させたい。

答 多賀城駅舎の新築や駅周辺の整備状況を考慮しながら、駅を中心とした交通ネットワークづくりというかたちで、具



拡幅が待たれる新田高崎線

体的に取り組みます。**4問** 岩切駅自由通路は、新田、山王、南宮地域住民の長年の要望である。自由通路実現の見通しを問う。

答 事業主体である仙台市とJR東日本が、基本設計及び支障物件調査などを実施しているが、具体的な事業スケジュール等は、まだこれからという状況です。

5問 本年第二回定例会で、市長は非核平和都市宣言に前向きな答弁をしているが、準備は進んでいるか。

答 速やかに宣言が行えるよう、議会とも調整を図りながら、準備を進めます。

日本共産党 柳原 清

1 市道整備 2 保育所待機 3 市内循環バス 4 岩切駅自由通路 5 非核平和都市

一般質問





一般質問

- 1 高橋四丁目近隣公園用地について
- 2 高橋四丁目公益施設用地について

自由民主クラブ 板橋 恵一

1問 高橋四丁目の近隣公園用地約一万五千㎡は、平成十一年十一月に高橋土地区画整理組合から市に帰属された。市道路公園課が同組合から買い求めた約六千㎡との合計約二万一千㎡の公園用地は、仙台市中野雨水排水ポンプ場が整備されるまで、市下水道課の指導により暫定洪水調整池として整備されている。同ポンプ場は平成十六年から稼働しているが、いまだに公園として整備されていないのはなぜか。

答 この土地は宅地造成時における雨水対策の一環として調整池の機能を持たせるため整備され、現在においてもその機能を有しています。

2問 高橋四丁目の公益用地約九百㎡は、宅地造成に伴う高橋地区の人口増加により既存の高橋地区生活センターが手狭となることからコミュニティセンター建設用地として確保されたが、土地区画整



除草作業

理事業が完了して九年以上経過しても建築に至っていない理由は何か。

答 コミュニティー施設を核とする複合施設の建設を予定していたことから、土地利用のあり方を市内で検討を進めてきました。今後は「市民協働」の理念のもと、地区にお住まいの方々を中心に、意見交換をしながら、土地利用のあり方等、方向性を見出していきたいと思いません。

また、発掘調査や用途制限などの条件があることから、土地利用の方向性を極めてながら今後調整を図ります。



- 1 津波被災業者に見舞金を
- 2 無認可保育所への助成強化
- 3 高齢者施設にエアコン設置

日本共産党 佐藤 恵子

1問 今年二月二十八日に発生したチリ地震による津波は、本市のノリ、ワカメ業者に大きな被害を与えた。国は激甚災害を指定し救済を図ったが、法的規制がありその救済から外れる状況が生まれている。市は、見舞金を支給すべきか。

答 激甚災害法に基づく復旧事業費補助の対象外と判断されたことから、被災者への支援策として、県・市及び漁業協同組合の負担により無利子の「水産業災害対策融資資金」を用意し利用を促しましたが、被災者の方々からは融資の申請はありませんでした。したがって、市として見舞金等を支給する予定はありません。

2問 保育所待機児童の多くは、無認可保育所を利用せざるを得ない状況にある。待機させている責任は市側にあると考えることから、無認可保育所入所児童への助成を強めるべきか。

答 本市の認可外保育施設への補助金は、県制度の対象、対象外を問わず、市単独で四歳以上児へも行っていきます。昨年度からは、県の対象区分が四歳未満児に変更になったことから、市においては三歳



チリ大地震津波時の貞山運河

児における補助単価を増額しました。県内で四歳以上を補助の対象としているのは、他に気仙沼市と石巻市、また、県低年齢児保育施設助成事業の対象とならない施設を対象としているのは、本市と石巻市のみで、本市の補助は他と比較しても充実していることを理解願います。

3問 シルバーヘルスプラザ（老人福祉センター）の利用者からエアコン設置の強い要望が出されている。設置すべきか。

答 指定管理者を通じ利用者の方々の意見も聞きながら、今後協議します。



問 中心市街地の活性化には、少子高齢化が進む中で市民が必要とする公共施設や商業施設の整備を始め、多様化した余暇や学びの場の集積も求められている。連続立体交差事業の完成が間近に迫り、旧長崎屋跡地の現況及び市街地再開発事業内にあるA、Bゾーンの再開発ビルの計画について進捗状況を伺う。

答 一昨年初以降の世界同時不況で、思うように保留床の処分先を確保できなかったのが現状です。しかし、持ち直しがみられる現在の経済市況下、改めて立地環境のポテンシャルを強みに、処分先の確保に向けて、最大限の努力をします。

一方で、小規模であっても、賑わい創出や地域再生に貢献し、長期にわたる資金回収が可能な、いわゆる「身の丈再開発」を活用することも新たな検討課題とし、必要に応じてA・B棟の基本計画の見直しを行いながら、駅北再開発事業の実現に取り組みます。

問 市の災害に備えた防災体制（消防水利）の整備には一定の基準があるものの、特に防火水槽の設置には万全を期すべきと考える。大震災を経験した神戸市



はじめの一步（駅前でのライブ）

では、市民の体験を十分に分析し水利確保の必要性を認識し、防災公園の整備・防災機能の強化という形で、公園内に耐震性防火水槽等を設置している。このような観点からも、水利確保のための防火水槽を設置すべきと考えるが所見を伺う。

答 消防法の基準から、市の消防水利は基準をほぼ充足していると考えます。今後も、開発による消火栓の設置や、都合により防火水槽を撤去したところは基準に合わせて設置するよう努力します。

1 中心市街地活性化に向けた

2 防災対策における水利対策について

進捗状況について

多賀城自民クラブ 伏谷修一

問 市民の地域医療として重要な位置づけにある仙塩総合病院の移転報道について、①本市との協議の結果、②今後の市の対応を伺う。

答 ①これまで、移転候補地などを積極的に紹介するなど、市内に留まるよう強く働きかけてきたが、いずれも病院側の条件に適合せず、結果として利府町への新病院建設が決断されたようです。②十年後を目途に移転する計画のようであるので、残された期間内に本市における地域医療体制が市民にとって最善のものとなるよう、情勢を見極めながら検討し必要な対策を講じます。

問 地域コミュニティーの拠点となる、山王・大代地区公民館の会議室及び体育館への冷暖房空調設備、エレベーターの設置等、施設設備の充実を願う。

答 今後の課題であると認識しています。③問 小1プロブレムについて、県教委の調査があり、その結果が報道されているが、①市内小学校の状況、②今後の対応方法を伺う。

答 ①一校で一名、不適応に近い児童が見られました。②特別支援教育支援員等



の配置、特別支援教育推進委員会や連絡会を設置し支援に取り組んでいます。また、来年度から連絡協議会を立ち上げ、連携の充実に努めます。

問 子どもたちが犠牲になる悲惨な事件が後を絶たない。先人の教えを見ても家庭教育は重要だと思いが、親の学びと家庭教育へのさらなる支援等、本市の「親学」への取り組みについて伺う。

答 子どもの発達段階に応じた「親学」の講座を開設しています。

1 仙塩総合病院移転報道

2 拠点地区公民館

3 小1プロブレム

4 「親学」への取組

多賀城自民クラブ 森 長一郎

一般質問



一般質問

1 宝堰水系と加瀬沼水系農業用水路への開口枡部の危険箇所、防護柵設置などの安全施設を

多賀城自民クラブ 吉田 瑞生

問 利府街道洞ノ口交差点下に、宝堰水系農業用水路の大きな開口枡があり、この開口部からの水路は、道路の下を通る地下用水路になっている。

用水路の開口枡部は、出入りが自由にできる状態にあり、農作業時期の揚水時には、落差のある水路を急流が音を立てて地下の用水路に流れ込んでいるため、転落したら急流に吸い込まれ、死に直結する事態が起こる。

開口部枡形の危険箇所には防護柵が防護壁などの安全施設を設置されたい。

加瀬沼からの水路が、市道名古屋線に接続している場所に用水路の開口枡があり、この開口部からの水路も地下の用水路に続いている。

用水路開口枡部に、防護柵設置などの危険防止策を図られたい。

答 指摘の宝堰水系農業用水は、近年、仙台市が施工した工事で、分水箇所(多賀城市側と利府町側へ)から北側、利府町側への用水路を、土側溝から一部コンクリート側溝に改修したことにより、水路用地両端に平坦地が発生し、容易に人



宝堰水系・岩切字洞ノ口交差点下の用水路

が立ち入ることができ、状況に変化したものと思われ、危険箇所への防護柵等の安全対策を行うにあたり、宝堰用水の維持管理を行っている「宝堰加瀬沼井管理組合水利委員」の意見を聴取し、水路整備を行った仙台市に対して、安全対策の実施を働きかけます。

次に、加瀬沼水系の危険防止策についても、宝堰用水同様、維持管理を行っている「宝堰加瀬沼井管理組合」と協議し、安全対策を実施します。



一般質問

保育行政について

市民クラブ 昌 浦 泰 巳

今年九月一日現在で、百六十七人の保育所待機児童がいる。今回の一般質問では、私を含めて四人の議員が保育に関する質問をした。いかに待機児童の問題が深刻であるかが分かる。私の質問は待機児童を解消するための案として、太陽の家の保育所機能の併設と市立保育所での時間帯による受け入れが可能かどうか、

問 ①待機児童が百五十人以上の現状を解消する策として、太陽の家が定員割れをしていることにかんがみ、保育所としての機能を太陽の家を持たせることは可能か。②現行保育所も保護者の就労時間に合わせて、「午前のみ」、「午後から」等、柔軟に受け入れ、待機児童解消を図ることは可能か。③幼保一元化の本市の現状はどのようなものか。

答 ①太陽の家においては、今後も、多様化する障害の特徴を見極めながら対応できる支援施設として、また、障害を持つ児童の療育相談等の拠点施設として、機能の充実を図って行くことがより重要

と考えていますので理解願います。

②保育所は、子どもが生涯にわたる人間形成にとつて極めて重要な時期にその生活の大半を過ごす場であり、子どもの生活リズムを大切にすることで、日々の保育のプログラムが一日単位で組み立てられていることなどから、同一保育所内において午前、午後の調整をするのは困難です。

③所管が文部科学省と厚生労働省に分かれ、施設の目的も「幼児教育」と「乳幼児の保育」と異なるため、全国的にも認定こども園の設置が進んでいない状況にあり、本市においても同様の状況です。





多賀城市と東北学院大学との

さらなる連携強化について

新風の会 深谷晃祐

東北学院大学との協定締結により、各種の連携事業が執り行われている。東北学院大学との連携をさらに推進し、地域と大学の連携策を模索すべきと考える。

問 東北学院大学工学部との連携事業について、市民の参加状況を伺う。また、今後の事業内容について伺う。

答 東北学院大学工学部と行ってきた連携事業は、「地域市民のための大学公開講座」、「おもちゃの病院」の開設、児童・生徒対象の「サマースクール」、「キャリア教育実践プロジェクト」の開催など、今まで実施した事業は計十五事業、市民参加の実績は、計六百五十五名、延べにすると二千四百六十名です。

今後とも、東北学院大学工学部で蓄積された研究成果や研究能力を十分に活用していただける連携事業のあり方をともに模索し、これまでの連携事業の継続、さらには、新たな分野での連携協力事業について検討します。

問 富県戦略の推進により、企業の進出とともに、従業員の家族が定住先を探している。子を持つ親は、教育環境の充実したまちに住居を構える傾向がある。



東北学院大学工学部

そこで、小学校から大学までそろっている多賀城市を「学都多賀城」として全国にPRしてはいかかか。

答 本市は、「史都多賀城」を標榜している。『学都多賀城』としてPRすることについては、これから研究検討を要するものと思います。しかし、教育環境の充実が進めば進むほど、優秀な人材が集まるという好循環を生むことから、今後とも、本市の教育環境の優位性をアピールしていきます。



環境政策について

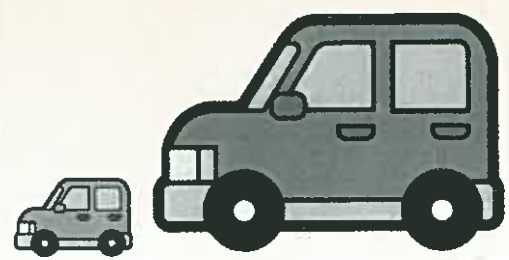
公明党 相澤耀司

問 改造EV車（電気自動車）について伺う。

改造EV車は、百三十万円で提供でき、時速は七十km、走行距離は四十五km、家庭用の百ボルトのコンセントで充電でき、1km当たり1円の電力料金で済むのも魅力である。改造EV車は、仕組みがシンプルで組み立ても簡単。ガソリン車のエンジンや燃料タンクなどの部品を取り外した上で、モーターとバッテリーを装着すれば、ほぼ完成する。パワーが小さい軽自動車主流となっている。

今、市で使用している公用車は、年間どのくらいの走行距離で、燃料費はどれくらいになっているか。1km当たり1円になれば、年間幾らくらいの節約になるか。市が他に先駆けて導入することにより、市の中小企業における導入のきっかけとなり、さらには地球温暖化の対策にも弾みがつく。市長の答弁を求める。

答 市が保有している軽自動車は二十九台。軽自動車一台当たりの平均年間走行距離は約三千八百km、燃費は1km当たり約十二kmなので、年間のガソリン使用量は、約三百七十七リットルです。現在のガソリン



ン価格が、税込み一輛当たり百三十六円五十銭ですので、単純に計算すると年間約四万三千二百七十円の燃料費となり、公用車のリース期間が、概ね五年間ですので、五年間で約二十一万六千三百五十円の燃料費を要することになります。

改造電気自動車は、中古の軽自動車マニユアル限定で、費用として約百三十万円が必要となるが、まだまだ改良の余地が残されていると考えられます。今後の技術革新の推移を見守りたいと思います。

一般質問



一般質問

1 多賀城市制施行四十周年記念事業について 2 多目的スポーツ公園事業について

民政ネットクラブ 雨森修一

問 平成二十二年二月六日、奈良・多賀城友好都市の盟約宣言並びに協定書の調印式が行われた。その際、両市の交流や相互理解を深めることを目的とした友好都市歴史シンポジウムが奈良市にて開催された。多賀城は来年市制施行四十周年を迎える年でもあり、四十周年記念事業の中で、三政庁（大宰府を含む）での持ち回りの事業として、「遠の都」であった本市において歴史シンポジウムを開催してはいかがか。

答 来年の市制施行四十周年記念の年にあたり、市内において記念事業としてどのような事業が実施できるか、様々なジャンルで幅広く検討を進めています。

現在、友好都市には、奈良市、太宰府市のほか、山形県天童市もあるので、「歴史シンポジウム」のあり方などを関係市等と十分相談して、市制施行四十周年記念事業の中で検討したいと思えます。

問 JR貨物線の跡地有効活用を含めて、留ヶ谷一丁目三十四の農地を市で買収し、次のように多目的に利用してはどうか。児童が自由に遊べるスポーツ公園・高齢



多賀城政庁跡

者がスポーツを楽しむ公園・水害対策の一環としての一時的な遊水池。

答 児童や高齢者が気軽にスポーツを楽しむことができる身近な公園がほしいとの要望は、これまでも多く寄せられ、必要性は十分認識しています。しかし、提案のあった留ヶ谷二丁目地内の用地は、約三千八百㎡程ある水稲の耕作地で、その一部は都市計画道路・新田南錦町線の事業地です。人家の状況からも適所といえるか、総合的な検討が必要だろうと思っております。

1問 地域経済活性化の切り札として地域資源を活用した観光産業の振興は欠かせないものと考えます。しかし、本市の観光行政の現状は、質の高い資源があるにもかかわらず課題も多く厳しい現状である。よって、本市の観光の課題を踏まえ「まちを元気にする観光」という視点に立ち、観光振興の意義、課題そして具体的な施策を明らかにした「多賀城観光振興ビジョン」を策定されたい。

答 現在、市では、観光の核となる特別史跡多賀城跡周辺で、「(仮称)多賀城インター」の建設の促進や「道の駅」の検討を進めており、観光事業のさらなる飛躍を目指しています。

一方で、「特別史跡多賀城跡第三次保存管理活用計画」の策定及び「歴史的風致維持向上計画」の認定に向けて作業を進めており、これらの計画の策定により、地域の全体像が見えて来る中で、地域経済活性化策としての本市の観光の将来像を深めていきたいと考えています。

2問 略。

3問 子育てと就労の両立を支援するた



一般質問

1 地域経済活性化策について 2 子宮頸ガン予防ワクチン事業について 3 病後児保育について

公明党 松村敬子



1問 地域経済活性化の切り札として地域資源を活用した観光産業の振興は欠かせないものと考えます。しかし、本市の観光行政の現状は、質の高い資源があるにもかかわらず課題も多く厳しい現状である。よって、本市の観光の課題を踏まえ「まちを元気にする観光」という視点に立ち、観光振興の意義、課題そして具体的な施策を明らかにした「多賀城観光振興ビジョン」を策定されたい。

答 現在、市では、観光の核となる特別史跡多賀城跡周辺で、「(仮称)多賀城インター」の建設の促進や「道の駅」の検討を進めており、観光事業のさらなる飛躍を目指しています。

一方で、「特別史跡多賀城跡第三次保存管理活用計画」の策定及び「歴史的風致維持向上計画」の認定に向けて作業を進めており、これらの計画の策定により、地域の全体像が見えて来る中で、地域経済活性化策としての本市の観光の将来像を深めていきたいと考えています。

2問 略。

3問 子育てと就労の両立を支援するた



- 1 少人数数学級拡大
- 2 学童保育過密化解消
- 3 高齢者対策拡充
- 4 道路整備推進

日本共産党 戸津川 晴美

1問 三十年間続いた小中学校における四十人学級は、もはや限界に達している一人ひとりのつまずきにいていねいな対応ができないため「落ちこぼし」を生みやすい。いじめ・不登校など心の問題も深刻だ。現在、限られた学年にのみ導入されている三十五人学級を、すべての学年に拡大するよう県に強く要請されたい。

答 文科省から発表された法律改正案では、段階的に一学級当たりの上限を引き下げる内容となっています。市としてもきめ細かな指導が可能となることから、大変期待しており、実現できるよう、国県教育委員会に要望していきます。



第一下馬踏切から国道へ出る歩道

2問 多賀城小学校の「杉の子学級」分級の具体策を問う。

答 学校運営に支障を来さないことを前提に、校内の既存施設を活用する方向で、学校側とも十分な協議、調整を行いながら、今年度中にその具体策を見いだしたいと考えています。

3問 ①敬老金の支給は、振込方式となっている。お祝いの気持ちが伝わらないと思うが。②ゴミ出しに不安を感じる高齢者に、戸別収集の制度を導入されたい。

答 ①対象者である本人へ確実に支給できる方法を考えると、現行の口座振込方式が最良の方法と思っております。②処理コストが増加することから、収集方式の変更は、今のところ考えていません。

4問 伝上山一丁目から第一下馬踏切を越え国道に出るまでの右側歩道が、大変狭く危険である。拡張の見直しを問う。

答 道路幅部分の用地買収とJ.Rとの協議をしながら、連続立体交差事業に合わせて、整備を進めます。



- 1 全国学力テストについて
- 2 副読本「わたしたちの多賀城」の編集について

新政クラブ21 中村 善吉

1問 本年四月、平成二十二年度の全国学力テストが、小学六年生と中学三年生を対象に、国語と算数・数学で行われた。今年度は、30・7%の抽出校と自主的参加校、全体の73・5%の児童・生徒が受けた。その結果が七月三十一日新聞報道されたが、①抽出方式をどう評価するか。②本市の参加状況は。③小学校、中学校での反省点は。④今後の学力向上対策は。

答 ①学習状況を総体的に把握することであれば、抽出方式によって指導改善が図れると思います。②抽出の有無によって市内の学校の対応が異なることは望ましくないことから、残る五校を希望参加としました。③個々の定着状況を踏まえて、学習改善、指導改善に活かしたい。④指導主事や学校専門指導員の活用を図り、校長会等各種会議をとおして、児童生徒の学力向上と支援に取り組みます。

2問 副読本「わたしたちの多賀城」の平成二十二年度改訂版が導入されたが、平成十七年度版に比較してどのように改訂されたか。①大幅に改訂された内容構成



成は。②自然大災害対策等の広域性の内容は。③利用方法について、ア利用上の必要条件是。イ一般市民への有効利用は。

答 ①従来の読本形式から、学習冊子の副読本と資料用のDVDとに分割した構成としました。②広域協力体制がなく本市単独完結内容になっているとの指摘については、副読本ではなく教科書で指導しています。③DVD対応のコンピュータであれば閲覧することができません。イ市立図書館に配置し、また、市のホームページへの掲載も考えます。

一般質問

私もひとつ

傍聴席から

傍 聴を通じて、協議内容を知り、とても良い経験になりました。

学級を四十人から三十五人にするこ
とで具体的に何が変わるのか分かり
ませんでした。五人減ればいじめが
なくなるのでしょうか。僕の通う富
沢中では、学級に三十五人以上いま
すが、たくさんの人と友達になるこ
とができるなど人数が多くても良い
ことはたくさんあると思います。

(中村 直太郎さん)

初 めて議会を傍聴させていただ
いたのですが、議会では非常に多
くのテーマが扱われているという印
象を受け、非常に驚きました。どの
テーマも市民の生活に密接に関係し
ており、市民の生活を向上させるた
めにさまざまな質問や提案を行う議
員の姿を見て、改めて議員は市民の
声を伝える役割があることを実感し
ました。

(関谷 龍一さん)



時 々、傍聴しています。傍聴者
が少ないのが気になります。

私たちのまちのすべてが決まる
議会をしつかりと見ることが必要
だと改めて思いました。市民の目
をしつかり光らせておきたいと思
います。

(龍淵 和佳子さん)

議会日誌

平成22年6月24日～平成22年9月28日

6月

- 議会だより編集委員会(2回開催)
- 25日 ●市議会議員定数等調査特別委員会
- 議会運営委員会

7月

- 議会だより編集委員会(3回開催)
- 6日 ●議会運営委員会
- 9日 ●第2回市議会臨時議会
- 15日 ●市議会議員定数等調査特別委員会
- 16日 ●建設水道常任委員会
- 21日 ●議会運営委員会

8月

- 議会だより編集委員会(1回開催)
- 8日 ●市議会議員補欠選挙
- 10日 ●市議会議員定数等調査特別委員会
- 議会運営委員会
- 11日 ●建設水道常任委員会
- 23日 ●議会運営委員会

9月

- 議会だより編集委員会(2回開催)
- 6日 ●議会運営委員会
- 8日 ●第3回市議会定例会(~9/28まで)
- 9日 ●議会運営委員会
- 13日 ●議会運営委員会
- 15日 ●議会運営委員会
- 16日 ●議会運営委員会

■議会の構成が変わりました

議会運営委員会
森長一郎議員が辞職し、佐藤恵子議
員に代わりました。

■常任委員会

戸津川晴美議員が八月八日に行われ
た多賀城市議会議員補欠選挙において
当選し、建設水道常任委員会委員に選
任されました。

■会派

新会派が結成されました。
新政クラブ21 中村善吉議員

■おわびと訂正

第七十二号に掲載した、表
紙写真の名前のふりがなに、
誤りがありました。「本郷と
もなりちゃん」↓「本郷とも
のりちゃん」の誤りでした。
おわびして訂正申し上げます。

■編集後記

第七十三号の編集に当たり、決
算審議や一般質問、そして代表質
問と全体的に文字数が多くなつて
しまうことから、編集委員会では
紙面構成を考えるのが大変でした。
今後とも市民の皆様には議会活動
をわかりやすく伝え、親しまれる
議会だよりになるように努力いた
します。

(深)

議会だより編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 板橋 恵一 |
| 副委員長 | 深谷 晃祐 |
| 委員 | 柳原 清 |
| | 米澤まき子 |
| | 雨森 修一 |
| | 松村 敏子 |